



議会だより



No. **121**
2013.8.1発行

6月定例会報告	
全額国庫補助事業 決定！	2
正副議長・議会運営委員・常任委員	4
議案審議結果	5
町政を問う・一般質問に12人が登壇	6
常任委員会レポート	13
議会クイズ・編集後記	14

全額国庫補助事業

農業用ため池の 点検調査決定

農業用ため池(奥田地内)

第2回定例会

平成25年第2回定例会が6月5日から6月13日までの9日間にわたり開催されました。

提出議案は専決処分の承認に関するもの3件、町の条例に関するもの6件、平成25年度一般会計及び特別会計並びに企業会計補正予算の議定に関するもの4件、町道路線の廃止に関するもの1件、町道路線の認定に関するもの1件、人事に関するもの3件の計18件でいずれも可決されました。

議員から子宮頸がん予防ワクチン副反応被害者の救済体制を整えることなどを求める意見書が提出され、賛成多数で可決されました。

震災対策

問 震災対策農業水利施設整備事業はどのような事業を行うのか。

答 農業用ため池の一斉点検の実施、及びデータベースの作成を、町内25ヶ所のため池で行う。

問 25ヶ所のため池は農業用水に使われているものか。

答 農業用水の受益面積が2ヘクタール以上、田んぼの灌漑に使われているのが条件。

問 災害防止という点からか。

答 東日本大震災でため池の堤防が決壊し、人命が失われた。国が緊急に耐震性の調査をする必要があるということで、10

割の補助で点検するものである。

風疹ワクチン

問 風疹ワクチンの予防接種の補助金について、妊娠している人の配偶者とあるが、法律上婚姻関係のない方もいると思うが。

答 基本的には婚姻している方である。

問 生まれくる命に、親の結婚の形態を差別する必要はないと思うが。

答 弾力的に検討させていただきたい。

問 風疹ワクチン予防接種の対象者への周知はどのようにするのか。

答 広報7月号、町ホームページ、公共施設のポスター掲示、チラシ配布したい。

問 風疹ワクチン自体の備蓄は少ないと聞いているが。

答 平成25年度の供給量は17万5000回接種程度である。国の計算では十分確保できると見込んでいる。



通学路改良工事

問 道路新設改良費の中の委託料1731万円の全体構想は。

答 町道2765号線通学路対策事業として計上2.5メートルの歩道をつけ延長は橋梁を含め約170メートルを予定している。

給与削減

一般職の職員の給与、町長等の給料の臨時特例に関する条例の制定について

平成25年7月から平成26年3月までの9ヶ月間、一般職の職員の給与を平均3.0%、町長の給料を10%、副町長・教育長の給料を5%減額する。

問 自治体が自主的に決める公務員給与への国の介入は、自治の根本に抵触する。地方交付税は地方固有の財源で、国が政策誘導に利用することは許されない。どのように考えるか。

答 知事がやむなく受け入れを表明してから、各自治体では受け入れの方向の流れができた。足並みをそろえていく取り組みは大切であると考えている。

問 デフレからの脱却で、財界には労働報酬の引き上げを要求している。経済への影響ではマイナスではないか。

答 企業に対して、労働者の賃上げを要請等もあつた。政策的に矛盾をかんじていた。

〈反対討論〉

この削減は社会保障の解体を進める。この大改悪は許せない。(根岸)

〈賛成討論〉

長いものにまかれざるを得ない。災害復興費が目的外に使われている。政府よ、しっかりやれ。(稲垣)

〈反対討論〉

地方就業の大きな柱である現場職員の給料を削減しても、地域に良い影響を与えない。職員の志気にダメージを与える。(松田)

子宮頸がん予防ワクチン副反応被害者の救済を整えることなど求める意見書

趣旨説明

子宮頸がん予防ワクチン接種が、平成25年4月より定期接種となったが、副反応の発生率が異常に高いこと、副反応の治療法が確立していないことなど多くの問題を抱えている。

早急に被害者に対する救済、及び被害の広がりを防ぐための対策を進め

る必要があると考える。よって、国に子宮頸がん予防ワクチン副反応被害者の救済体制を整えるため本案を提出する。

〈反対討論〉

副反応の原因究明と生じた場合、手厚い補償を進めながら国の予防接種法改正案の早い成立を期したい。(中山)

〈賛成討論〉

重篤な健康被害が生じているにも関わらず救済対象にならない。

子宮頸がん予防ワクチン副反応被害者の救済体制などを整えることを求める意見書

子宮頸がん予防ワクチンに関して、国は市町村に対して補助を行い、予防接種を促進することを目的として、平成22年度途中より子宮頸がん等予防ワクチン接種緊急促進事業を開始した。そして子宮頸がん予防ワクチンは本年4月より定期接種となり、市町村で行わなければならない予防接種となった。

しかし副反応の発生率が異常に高いこと、副反応の治療法が確立していないこと、有効性の持続期間が確認できていないことなど多くの問題を抱えている。

予防接種法に基づく予防接種は国による救済がなされるが、任意接種の場合には自治体が入る民間保険と医薬品医療機器総合機構(PMDA)の補償が行われる仕組みであるが、極めて限定的である。任意接種の場合にも予防接種法に基づく予防接種と同等に補償を行うなど、被害者の立場に立った補償のあり方を検討する必要がある。

よって鳩山町議会は国に対し、以下の4点を求めるものである。

1. 副反応被害者の実態をしっかりと把握し、副反応の原因を解明すること。
2. 副反応被害者の立場に寄り添った速やかな補償、並びに相談事業の拡充をすすめること。
3. 副反応の状況と併せてワクチンの効果を検証し、ワクチン接種の必要性についても再検証すること。
4. 副反応被害者に対する治療法の確立に全力を尽くすこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月13日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
厚生労働大臣 田村憲久 様
内閣官房長官 菅義偉 様
衆議院議長 伊吹文明 様
参議院議長 平田健二 様

埼玉県比企郡鳩山町議会



町の動き

●庁舎の耐震化等工事の進捗状況

定期接種と公的な救済ができる仕組みと原因の究明、調査、検証を進めていただきたい。(根岸)

議場外部の非常階段の撤去、税務課及び高齢者支援課南側壁への耐震ブレースの取り付け完了。トイレ及び階段の改修を先行して施工。

●中央公民館耐震化工事

8月まで休館とし工事を進めている。計画進捗率51%に対し、実施進捗率55%、予定より若干進んでいる。

アスベスト除去工事は、屋上階は予定通り除去、地下の部分については封じ込めとする。

子ども大学はとやま

～今年度新規事業～

教育委員会 子供の学び力や生きる力を育み地域の教育力を向上させるため、東京電

機大学理工学部と町が提携し、小学4年生から6年生を対象に年6回開催予定。5月25日植物の無菌培養を体験しようとして、1回目を開校した。

6月議会において、正副議長の選挙が行われました。
また平成23年の改選から2年が経過したため、各常任委員会及び議会運営委員会の委員選任を行いました。



議長 小鷹 房義



副議長 中山 明美

町民の皆様には平素より町議会に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

6月定例会において、議員各位のご推挙により議長に選任されました。

身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感いたしております。

鳩山町も、良品計画の誘致、スマートインターの開通、越辺川大橋の完成と大きく変わろうとしています。開かれた議会を旨とし、議員一丸となって努力してまいります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

この度、副議長の任を拝しました。身の引き締まる思いでいっばいです。議員の成長があつてこそ、皆様の付託に答えられる審議ができると思っております。

町民の皆様の声を町政にお届けしてまいります。開かれた議会・身近に感じてもらえる議会を目指して努力してまいります。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

議会運営委員会

会議の会期、議事日程、議事進行、その他議会運営上必要な事項を協議します。



- 委員長 野田小百合 (前列左)
- 副委員長 松田 隆夫 (前列右)
- 委員 稲垣 稔 (後列右)
- 〃 日坂 和久 (後列中央)
- 〃 根岸富一郎 (後列左)

地方自治法第109条及び鳩山町議会委員会条例に基づき設置されており、議員はどちらかの常任委員会に属します。その部門に属する町の事務に関する調査を行い、請願等を審査します。

福祉文教常任委員会



- 委員長 稲垣 稔 (前列中央)
- 副委員長 田中 種夫 (前列左)
- 委員 中山 明美 (前列右)
- 〃 森 利夫 (後列右)
- 〃 小川 唯一 (後列中央)
- 〃 松浪健一郎 (後列左)


総務産業常任委員会




- 委員長 日坂 和久 (前列中央)
- 副委員長 小峰 文夫 (前列左)
- 委員 野田小百合 (前列右)
- 〃 松田 隆夫 (後列右)
- 〃 石井 計次 (後列中央)
- 〃 根岸富一郎 (後列左)




**監査委員に
石井 計次 議員**
議会選出の監査委員に、石井計次議員を選任することについて同意しました。



**監査委員に
吉野 邑氏**
監査委員の任期満了に伴い、大橋在住の吉野邑氏を再任することについて同意しました。



**人権擁護委員に
関口 文子 氏を
推薦**
人権擁護委員の任期満了に伴い、泉井在住の関口文子氏を推薦することに意見を求められ「適任である」としました。



**固定資産評価審査
委員会委員に
清水 潔 氏**
固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、小用在住の清水潔氏の再任について同意しました。

議案の審議結果

○は賛成 ●は反対 議は議長

議案	議員氏名											審議結果		
	田中 種夫	松浪 健一郎	日坂 和久	森 利夫	野田 小百合	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	稲垣 稔	松田 隆夫	根岸 富郎		中山 明美	小鷹 房義
第2回定例会	税条例の一部を改正する条例(専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例(専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	平成24年度一般会計補正予算(第7号)(専決処分の承認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成25年度一般会計補正予算(第1号)の議定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の議定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成25年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)の議定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成25年度水道事業会計補正予算(第1号)の議定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	適任
	一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	●	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
	町長等の給料の臨時特例に関する条例の制定について	●	●	●	○	●	○	○	○	○	●	●	○	原案可決
監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	議	同意
議員提出	子宮頸がん予防ワクチン副反応被害者の救済体制を整えることなどを求める意見書案について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	議	原案可決

※除とは除斥(じよせき)の略(除斥とは議員の利害関係のある事件について審議に参加できないこと[地方自治法第117条])

町政を問う!

一般質問 12議員が質問

一般質問をした議員自身の原稿を基に編集しました。

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では3日間にわたり行われました。

- 根岸富一郎 議員
 - 1 町の介護保険料見直しについて
 - 2 区長の報酬について
 - 3 ごみ焼却場建設について
- 松浪健一郎 議員
 - 1 福島から避難してきている方々について、町としての将来のビジョンを伺う
- 稲垣 稔 議員
 - 1 鳩山町の貴重な資産である自然、大学・研究機関、高齢者の経験を、まちづくりに活かす施策が重要
- 中山 明美 議員
 - 1 鳩山ニュータウン空き家対策について
 - 2 災害備蓄倉庫の整備について
 - 3 エコリ菌検査の導入について
- 野田小百合 議員
 - 1 鳩山ニュータウンの自治組織のあり方について
 - 2 子宮頸がん予防ワクチンについて
- 日坂 和久 議員
 - 1 町内道路危険箇所安全対策について
 - 2 鳩山ニュータウン地域のあるべき姿について
 - 3 平成の国分寺造営でつながる古代瓦のふるさと鳩山再現事業について
- 田中 種夫 議員
 - 1 学校給食センターについて
- 石井 計次 議員
 - 1 成年後見人制度について
 - 2 水辺の再生について
 - 3 町の特産品について
- 松田 隆夫 議員
 - 1 エネルギーの地産地消について
 - 2 中長期的展望をもった公共事業の実現に向けて（国の大型補正予算を視野に入れて）
 - 3 子宮頸がん予防ワクチンについて
- 森 利夫 議員
 - 1 本年3月の定例会で議決した一般会計補正予算について
 - 2 町の特産品と観光事業について
- 小鷹 房義 議員
 - 1 町内デマンドタクシー、町内循環バスについて
 - 2 町内の交通安全対策を考える
- 小峰 文夫 議員
 - 1 企業誘致について
 - 2 今宿東土地区画整理事業について
 - 3 今宿小学校グラウンドの大き木について
 - 4 亀井小学校グラウンドの遊具について
 - 5 鳩山中学校の吹奏楽器について
 - 6 耐震補強事業について

介護保険

生活援助の時間が短縮されたが…

アンケートの実施で実態把握する



根岸 富一郎 議員

- 問** 鳩山町でも、掃除・ゴミだし、病院の付き添いが増えたという。訪問介護で利用者・家族への影響はどうか。
- 答** 訪問介護の生活援助が、これまで60分単位だったが、20分以上45分未満と45分以上に変更。ケアマネジャーから利用者へサービス回数を増やすように勧めても、いままでと同じ回数意向が多く、ヘルパーは短い時間で終わらせようとするなどの事例がある。
- 問** 実態把握は。
- 答** 今年度、利用者アンケートの実施で実態の把握をしたい。
- 問** 町と大字・自治会が提携する場合のあり方を明文化する必要があるのではないか。
- 答** 今後、自治組織のあり方などについて研究する。
- 問** 開発行為など周辺住民の意思決定を現行の区長や区長会に委ねることが出来るか。
- 答** 開発行為の協議の定めで、周辺住民への説明は義務となっているが、同意書等の添付は条件となっていない。しかし、町長の同意書が必要であり、町として必要になる。周辺住民の同意書等は、区長名義で取り交わされるが、住民の多数が決定したものと解釈する。
- 問** 組合への要望事項中の稼働年限30年とあるが、提案があったのか。
- 答** 町が一例として説明した内容である。
- 問** 施設建設の許可に必要な要件は何か。
- 答** 土地所有者の同意が基本であり、特に周辺住民の合意は法的にはない。丁寧な説明をしたい。
- 問** 上熊井住民との基本合意はできるか。
- 答** 大気関係など説明を重ねたい。



生活援助 時間短縮 (ゆとりがなくなった)

松浪健一郎 議員



自治組織

丁目ごとに絞った自治組織は

そういう観点もあり

問 福島から避難して来ている方々について、将来に不安を感じている方もいると思う。町として何をすべきか、将来のビジョンを伺う。

答 JAXAとの協議で複数年の使用賃借契約を結ばないものの、1年単位での延長を行うことで共通認識を図っている。手続きとしては、本年4月に、国から東日本大震災に係る応急仮設住宅の供与期間の延長について、都道府県に通知され、各被災県が各都道府県知事に依頼し、災害救助担当部局の判断の元で1年を超えない範囲で延長できる。現時点で明言はできないが、更に1年間の延長ができると考えている。

問 JAXAの施設を町が買うことはできないか。

答 買うとは言えないが、いろいろ調べ直したい。

問 5月19日に行われた「鳩山ニュータウンの自治組織のあり

方」に関する意見交換会を開催するに至った経緯を伺う。

答 ニュータウンの高齢化に対応するには、住民と町が手を携え、福祉や防犯、防災をメインとした仕組み作りを構築する必要がある。自治会は地縁による自治組織という原点に戻り、地域支援合いの中心になって欲しい。そうした町の考え方を住民がどのように捉えているか把握するために開催した。

問 丁目ごとに絞った組織作りも必要だと思うがどうか。

答 そういう観点もありだと思う。



延長が待たれる避難者仮住居 JAXAの施設

地域活性化

大学は地域の宝、地域は大学の宝

理念を今後連携の礎として生かす

問 鳩山町の貴重な財産は、里山の自然、大学や研究機関や先進事業所そして豊富な経験や知識をもった高齢者の人材です。与えられたこれらの財産をまちづくりに活かすことが極めて重要な課題です。しかし、大学や研究機関とは「連携」「互恵」の関係にはほど遠いのが実態。大学や研究機関に対する町の理念が乏しいからです。

私は昨年末、これからの大学と自治体が目指すべき方向性を明示したフォーラムに参加しました。タイトルは「地域活性化のための大学と自治体の連携」です。講師は文部科学省高等教育局長の坂東久美子さんです。要旨は、「大学は地域の宝・地域は大学の宝」それは大学の有する様々な資源（ヒューマン・ソフト・ハード）

これら地域にとって大きな財産。教職員、学生、留学生、同窓生など様々な人的資源。そして、キャンパス、施設、設備などの物的資源。さらに、教育研究活動とその成果。文化的知的土壌、社会的信頼などのソフト資源。逆に、地域の資源やサポートは、大学の様々な機能を発揮するうえでの大きな宝。大学は地域との連携を強化し、双方の資源を最大限活用しなければとの主張でした。私は感銘を受けました。坂東さんの主張に対して感想を伺います。

答 坂東局長のお話は、理念的に示しております。今後の大学との連携事業の礎として活かさせていただきたいと強く感じました。

稲垣 稔 議員



東京電機大学 鳩山校舎

中山 明美 議員



空き家対策

今後の対策をどう考えているか

データを集める必要がある

問 空き家の把握はどのようにしているのか。

答 水道使用者情報により把握している。

問 空き家の現状・戸数の推移・地域は。

答 3347件中、水道中止数が半年で123件から145件と増加している。松ヶ丘地区が50件から54件、楓ヶ丘地区が45件から61件、鳩ヶ丘地区が28件から30件。

問 ニュータウンの学校の児童数の推移は。

答 小学生は昭和50年度は112人、年ごとに倍増し60年度には1331人がピーク。その後徐々に減少し、平成6年に962人、25年度が260人。

問 来年度の児童数の見込みは。

答 20人程度減ると思われる。

問 空き家をそのまま放置していると生活環境や防犯上問題がある。その対策は。

答 環境保全条例を準用し適正な管理を指導している。今後、空き家が

さらに増えると予想される。他町村の状況を勘案し、町条例を考えていかなくはないと思う。

問 町長の見解は。

答 管理を徹底していく方向の空き家対策・空き家を活用するという施策の2通りがある。町村会でも空き家を活用し子育て世代を定住させる施策に取り組んでいる町村に研修に行く予定である。研究してまいりたい。

問 空き家バンクを検討しては。

答 第5次総合計画の中で鳩山再生創造戦略の指標として小学校入学児童数の増加が掲げられている。いろいろな形で研究してみたい。

問 空き家バンクを検討しては。

答 第5次総合計画の中で鳩山再生創造戦略の指標として小学校入学児童数の増加が掲げられている。いろいろな形で研究してみたい。



空き家に住みついている？タヌキ？ハクビシン？

野田 小百合 議員



ワクチン行政

副反応や有効性などの情報提供を

資料を作成し、情報提供する

問 鳩山町における子宮頸がん予防ワクチン接種状況はどのようか。副反応の報告はあったか。

答 2月1日現在、262人が接種を開始している。

副反応は3件あったが、いずれも中学生で、重篤なものではなかった。

問 副反応の状況や有効性など接種前の子どもたちや保護者に、具体的な情報を知らせる必要があるのではないか。

答 現在、国でも専門家による検討を行っている。その結果も踏まえて対応したい。国で検討している情報提供資料を参考に、予防接種の効果や副反応等の内容を説明した詳しい資料を作成し、予防接種対象者や保護者に情報提供ができるようにしたい。

※6月14日に厚生労働省はワクチン接種を積極的に勧めることを一時的に控えることを決めました。

問 鳩山ニュータウン住民自治会は、なぜ

自治協力団体として認められないのか。

答 鳩山ニュータウン新自治会を認めた平成7年の経緯や当時の町の考え方について調べた。本来、望ましいものではないが、例外的に認められたものと推察した。

現時点での町の考え方は、同一エリアに複数の自治協力団体が存在することは望ましいことと考えていない。

また名実ともに新規設立できないと審査の対象とならないが、住民自治会は、既存の団体が定期総会を開催して名称を変更しただけであると疑わざるを得ない。



子宮頸がんワクチンに関するパンフレットより(厚生労働省)

日坂 和久 議員



町道の安全対策

早急に危険箇所の安全対策工事を

指摘箇所の安全対策工事は必要だ

町内道路危険箇所の安全対策

問 水穴通りの農村公園通り接続部分は、センター部分や外側線が分りにくいため、道路中央部を走行する車両が多い。すれ違いざまの衝突事故等が心配されるが、安全対策はいかがか。

答 水穴通りは、抜け道として利用されているようであり、特に朝夕は通過車両が多い。指摘の場所は時折事故が発生しているようだ。安全対策として、センターには発光式道路標識、外側線には蛍光塗料付ポールを設置を検討する。

問 鳩ヶ丘ごぶし通り無歩道側の歩行者安全対策についてはいかがか。

答 無歩道側の路肩を広くとり、カラー舗装等で運転者の注意を喚起する。

二ニュータウン地域のあるべき姿

問 今後町が意見交換会を開催していくのか。

答 現段階では、町が問題提起しているが、二

ニュータウン地域で不要との意見が多くあれば、考えを改める。

古代瓦のふるさと鳩山再生事業

問 国分寺市と鳩山町の連携内容は。

答 双方の産業祭を利用して行う。鳩山の粘土・燃料で実際に焼成した瓦を、現在整備中の武蔵国分寺跡で活用するため、運上するイベントとする。

問 対外的に鳩山の魅力を発信する良い機会では。

答 古代窯の復元や古代瓦の焼成、国分寺市への運上イベント等全国的にも珍しい事業で、話題になることは予想される。



センター・外側線が分からず、真ん中を走る車が多い

学校給食

給食センターの早期改築を

専門委員会の答申を待ち検討する

田中 種夫 議員



問 現在の学校給食センターは稼働後既に30年が経過し、建築面を考えると老朽化も進み小さな機械故障なども発生しており、町内公共物の中でもガス利用による「火力事故」の危険性も含み早急に検討する必要が有ります。更に職場環境は悪い作業場のため、従業員の労力は想像以上と言っても過言ではありません。又、少子化に伴い担当課としてはどのように考えているのか伺います。

答 稼働は昭和56年です。約30年が経過していますが、耐震基準についてはクリアしておいております。なお今後の考え方としては、「学校給食の新たなあり方調査検討委員会」を立ち上げ来年3月末迄に答申が出されますので、その後検討していきます。また給食利用者数は平成24年度が1040人、平成37年度が600人と予測しております。

問 仮に新規センターの設立を考えた場合は、場所・規模・方式などどのように考えているのかお聞かせ下さい。

答 「調査検討委員会」の答申を受けてすべてについて検討していきます。そして供給運営方式は、センター方式・単独校方式・委託方式・親子方式など総合的に検討していきます。規模・場所につきましても、答申が出てから総合的に検討、判断をいたします。



内部の老朽化が心配される給食センター

福祉行政

成年後見制度・町の捉え方は

鳩山町なりの方法を検討



石井 計次 議員

問 本町では昨年来、健康福祉課等による説明会の開催など、様々な取り組みをされている。経緯と今後の計画は。

答 認知症、知的障害などで悪徳商法の被害に遭う事もある。本町の場合、高齢化率は益々高くなり判断能力が不十分な方の増加が予想される。この制度を町民に正しく理解して頂き体制の整備充実を図る必要があると考える。

問 まず、この制度を否定しての質問ではないことを申し添えます。しかし本年、後見人の弁護士が被後見人の預貯金約4000万円を横領し逮捕。昨年は18件、3億円以上の被害が発生している。防止策が喫緊の課題と思うが町の考えは。

答 制度を悪用するケースが増えている。対応策として社会福祉法人など法人後見なども検討する。

町の特産品について

問 観光や雇用など町の活性化に繋がる重要な



町の特産品の一例

施策と考える。好評な特産品もあるが町が開発した焼酎「呑舞」は低迷にある。実状はどのようか。

答 売り出した平成18年は約253万円その後売り上げは落ち込み平成24年が約32万円で年々落ち込んでいる。

醸造元の仕込みは2年前から止めて頂いている。

問 本町でも麦の生産者があります。2種類の焼酎の検討ができないか。

答 ワイン・焼酎を言め考えたい。

問 町おこしの観点からトップセールスの町長の認識は。

答 就任直後、業者を一巡したが改めて販路拡

子宮頸がん予防ワクチン

接種を見合わせる選択肢が必要

任意接種なら可能。検討する



松田 隆夫 議員

問 子宮頸がん予防ワクチンの安全性・有効性に問題がある。最新の知見を広報してほしい。

答 国でも議論されているので、町民の皆さまに個別通知などの情報提供をしたい。

問 安全性が疑われる現状では、任意接種の年齢を20歳くらいまで広げるとか、接種を見合わせる選択肢があつてよい。

答 検討したい。

問 国の予防接種被害者救済制度とは別に、町独自の救済制度があつてよい。

答 調査して研究させていたがたい。

問 接種の責任を個人が取るざるを得ないなら、行政は最新情報を出し、住民をサポートすべきだ。ワクチン全般に関して、もっと知ってもらう必要がある。

答 ホームページなどを使い、できることからやっていきたい。

(議会閉会后6月14日、国は自治体に「子宮頸がん予防ワクチン接種の積

極的な勧奨をしない」旨、通知を出しました。)

子育て支援住宅

問 子育て支援住宅とは何か。

答 再生可能エネルギーの実験を兼ねた公営住宅で、鳩山町全体の活性化を目的としている。

問 庁内で、推進する合意はできているのか。

答 合意できている。

問 実施に向けてクリアすべき要件は。

答 法規制問題と財源対策だ。

問 財源以前に、いつでも取りかかれる準備をしておく必要がある。

答 その方向で準備していく。ぜひやりたい。



「付加価値型」子育て支援住宅「整備計画」平成24年

森 利夫 議員



補正予算

事業総額10億円補正の執行は

国の実施計画承認後に予算編成

問 本年3月の定例会で、元気臨時交付金を活用して、事業総額10億円の補正予算を組んだが、それら事業の進捗状況は、

答 亀井・今宿小学校と鳩山中学校のプール改築工事設計業務、町内全小中学校と幼稚園の空調設備設置工事設計業務、鳩山中学校の大規模改築工事設計業務及び路面性調査を執行した。工事施工に必要な設計及び調査業務を行っている状況である。

問 元気臨時交付金を活用する事業は、これから大部分を決めるという事で良いのか。

答 その通りだ。国へ提出する実施計画が承認された後、本格的な補正予算の編成をしたい。

問 鳩山町への交付限度額は、約4億4900万円で、3つのコンセプトに基づいて活用するということだが、どういった経緯で定められたのか。

答 活用に関する各課調査を経て案を作成し、政策会議で一部修正をし

浴槽等改修工事に太陽熱温水設備を検討中の福祉センター



て定めた。活用方針を決定するには国の承認が必要なのでその後になる。又3つのコンセプトは少子高齢化対策、エネルギー対策、防災対策、活性化対策等の懸案事項をまとめたものだ。

問 特徴的な事業で、総合福祉センター浴場等改修工事の中で太陽熱温水設備の導入とあるが仕組みは。

答 屋上に設置する集熱器と蓄熱槽の間で、溶液を強制循環させる方式なので、お湯と溶液が直接触れ合わず衛生面で優れている。

生活財政

デマンドタクシー土日運行は

3つの問題点がある

小鷹 房義 議員



問 町内デマンドタクシー循環バスについて

答 各地区の利用状況

問 ニュータウン69%、今宿地区20%、亀井地区11%となる。

問 亀井地区においての交通手段はどうか。

答 公共交通不便地域となっている。町内循環バスも利用者数も少なく廃止になり、平成21年10月からデマンドタクシーを運行している。

問 土日の運行を考えたらどうか。

答 現在、土日の運行がなされていない理由が3点ある。1つ目は、タクシー事業者の事業と競合する部分があること。2つ目は、予約受付等の業務を委託しているが、土日は休業であること。3つ目は、運行の日を増やすと経費の増加になる。デマンドタクシー3台分の運行経費は、年間2240万円かかり、1日約9万1000円になる。土日に運行した場合、約96日の追加となり、予約にかかるオペレーター



信号機設置が急がれる亀井小通学路（大橋地区）

費用、車両代、燃料代など500万円以上の費用増となっている。なお、土日運行などの重要事項は、鳩山町地域公共交通協議会での審議事項になる。

問 町内の道路において横断危険箇所はないか。

答 現在、地元等から信号機の設定要望が10ヶ所から出ている。10年以上前から要望されているところもあり、生活環境課では西入間警察署へ定期的に信号の設置要望をしている。

問 現在進めている交通安全対策は。

答 今宿小通学路の花見堂通りの歩道設置事業、亀井小通学路、大橋地区から県道を横切る時の交差点の路面表示を行う。

小峰 文夫 議員



企業誘致

良品計画従業員募集はいつからか

諸般の事情で平成25年11月頃

問 平成5年に奥田地区地権者の要望から始まって丸20年であり、今年から工事が始まりましたが進捗状況を知りたい。

答 県の開発許可が今年の1月24日出され、2月下旬に、文化財調査の伐採工事が始まり、その後、防災工事、造成工事、防災調整工事等に着手し、平成26年7月の竣工を目指し、急ピッチで工事が進められている。

問 従業員募集はいつごろから始まるか。

答 諸般の事情から、平成25年11月ごろには募集を開始することになるのではないかと。

今宿東土地区画整理事業について

問 最も関心があるのが、区画整理地内に、スーパーマーケットが本当に出来るのか、スーパー用地はどうなっているか。

答 店舗建設のための大きな1区画とするため、換地の変更を実施している。

今宿小学校グラウンドの

平成26年7月完成めざして急ピッチで進む工事



大木について

問 今小のグラウンド東側の大木は危険であり、近隣に迷惑と思うが。

答 この木については、非常に高く伸びており、計画的に剪定や伐採等をしていく。

問 亀井小学校グラウンド南側に設置されている遊具の間隔が狭くて危険と思うが。

答 遊具と遊具の間に十分な空間をとって安全を図るようにする。

問 鳩中の吹奏楽器がかなり壊れているが。

答 計画的に楽器購入費を予算計上出来るよう努力し、クラブ活動に影響が出ないようにする。

一部事務組合報告

町の事業を他の市町と共同して行う事業です。

西入間広域消防組合

平成25年5月27日第1回西入間広域消防組合議会臨時会が開催されました。

提出された議案は、平成25年度一般会計補正予算、財産の取得の2議案で、いずれも可決されました。

一般会計補正予算では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ29万2000円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ12億2362万2000円とするものです。

歳出の内容は、毛呂山町消防団女性団員のヘルメット・活動服などの購入と毛呂山町若山3丁目第5団地のごみ集積場に消火器を設置するものです。財産の取得は、越生分署に、水槽付消防ポンプ車を購入するものです。

(日坂)

ラスパイレス指数

順位	市町村	ラスパイレス指数	※参考	順位	市町村	ラスパイレス指数	※参考
1	熊谷市	112.1	103.5	26	吉見町	107.9	99.7
7	滑川町	111.0	102.5	50	鶴ヶ島市	104.6	96.3
14	小川町	109.7	101.4	54	鳩山町	103.1	95.2
23	ときがわ町	108.4	100.2	56	毛呂山町	102.4	94.6
24	坂戸市	108.3	100.0	57	越生町	101.6	93.9
26	嵐山町	107.9	99.6	62 (最下位)	皆野町	92.5	85.4
市単純平均		108.2	100.0	さいたま市を除く 平成24年4月1日時点			
町村単純平均		104.4	98.6				

ラスパイレス指数とは...

地方公務員と国家公務員の平均給与額を、国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経歴年数別に比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。

※国家公務員の時限的な(2年間)の給与改定特例法がない場合

常任委員会レポート

総務産業常任委員会

食の未来につなげる

オーガニックハウス鳩山 農場視察

6月11日、平成23年12月から業務を開始した「オーガニックハウス鳩山農場」の現地視察を行いました。

当初は「薬糧開発」としてスタートしましたが、平成24年2月に名称変更し、現在に至っています。農場経営面積は3ヘクタール、その他の施設は事務所棟、作業棟、育苗ハウス、生育ハウスなどがあります。



トラクター、バックホウ等の農業機械等を使用し、雇用状況は社員7名、パート15名（町内及び近隣）となっています。

作物は約30種類を生産しており、今期は約9000万円の販売額を目標としています。

「オーガニックハウス鳩山農場」では、わが国の「食の未来」につながる農業のあり方、環境保護も視野に入れた良い農場作りに励んでいます。



取締役の方からは、「将来は、加工・レストランまで運営したい」と抱負を語っていただきました。鳩山町の産業振興の面からも、期待していききたいと思います。

(日坂)

福祉文教常任委員会

本委員会は、6月11日所管事務の調査を終了した。

勤チーム」で策定。

チームは8月に立上げて、12月に「整備計画（案）報告書」を町に提出し、それをもとに町は整備計画を策定する。

日程第1 「福祉・健康複合施設整備計画」策定方針（骨子案）について

鳩山町の高齢化は早いスピードで進んでいる。

7年後の2020年に、75才以上の高齢者数は3058人になる見込み。

現在、町内にある特別養護老人ホーム「松寿園」の定員数は100人にとどまり、現在も数十人の入所待機者がいる。

そこで、特に高齢化が著しいニュータウン地域に「福祉・健康複合施設整備計画」を策定、平成29年2月の運用開始を目指す。

旧松栄小学校敷地を活用し、「介護予防事業」を展開できる複合施設とする。

整備計画（案）は、高齢者の公募町民を含む15名の委員で構成する「協

るため、子ども・子育て関連3法が平成24年8月22日公布された。子ども・子育て支援法に基づき給付は

①施設型給付（認定子ども園、幼稚園、保育所を通じた給付）

②地域型保育給付（小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育）

なお、両給付は、早朝・夜間、休日保育も対応。町は今後、関連3法に基づき子ども・子育て新システムを実施するため、国の指針に基づき、「子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度中に策定。

日程第3 「食」コミニティ会議プロジェクト事業について

健康寿命の延伸・健康格差の延伸を実現するためには、「健康を支え、守るための社会環境の整備が重要となる。そのため地域のつながりの強化」のため、食「ミ」会議を設置して促進に努める。

日程第2 「（仮称）子ども・子育て支援計画」の策定及び推進体制について

幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進す

るため、子ども・子育て関連3法が平成24年8月22日公布された。

子ども・子育て支援法に基づき給付は

(稲垣)

表紙写真の説明

七夕祭り&オープンカフェ
15000人の夢

7月6日・7日

ニュータウンふくしプラザ

「鳩山町に住む方全員が夢や希望を持てる町にしたい」と地域ボランティアの皆さんの企画・運営で開催されました。

たくさんのお願いを短冊に託して飾り付けられました。

おいしいコーヒー・紅茶・緑茶・ハーブ茶をいただきます。

(中山)

議会の音声配信をしています！

議会ホームページをクリックしてください。会議日の概ね3日後から聴くことが出来ます。

ご都合の良い時間に聴いてください。



議会クイズ

● 正解者の中から抽選で5人の方に図書券か町内循環バスチケット5回分を差し上げます。

どちらからお選びください。

120名の当選者の名の方

おめでとうございます

● 熊井 高木 智子様

● 須江 恩田 正子様

● 楓ヶ丘 林 貞宏様

● 鳩ヶ丘 笠間久二郎様

● 松ヶ丘 早田早百合様

★ 前回の答え

① □ ② □ ③ イ

問題1
表紙の写真はどこの写真か。

イ 公民館 □ ふくしプラザ

ハ 鳩山幼稚園

問題2

一般質問をした人は何人でしょう。

イ 5人 □ 8人 ハ 12人

問題3

定例会は、年何回開催されるでしょう。

イ 2回 □ 4回 ハ 6回

(応募方法)

はがきに「答え、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入してください。

なお「議会日より」や議会に対してのご意見なども記入頂ければ幸いです。

(あて先)

〒350-0392

鳩山町大豆戸184-16

議会事務局「クイズ係」

(締切)

8月23日(金)

(当日消印まで有効)

★ 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

奮ってご応募ください。お待ちしております。

傍聴ありがとうございました。
次回の傍聴をお待ちしています

6月議会傍聴者数

6月5日	0人
6月6日	18人
6月7日	21人
6月10日	12人
6月13日	0人
合計	51人

※傍聴者数は傍聴券を返却された人数です。

議会傍聴のご感想ありがとうございます

● 質問事項に同じようなものがある。調整はしているのだろうか。

● 傍聴者が意外に少ないと感じた。これからも機会があれば自分の町のことなので、傍聴したい。

● 大変真面目に討論していて安心した。

● 答弁はもっと勉強して具体的にしたい。

次回9月定例会は9月30日(火)から開催予定です

町議会は、年4回(3月、6月、9月、12月)の「定例会」と、必要があるときに開かれる「臨時会」があります。

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。

編集後記

★ 鳩山の暑い夏も真っ盛り、小学生などお子さん達も楽しい夏休みを元気に過ごしているでしょう。

これからは各地で夏まつりが開催されます。ご家族が揃って楽しい夏の思い出をつくりましょう。

★ 我々議員は、住民の皆様からご支持を頂き、皆様と行政との橋渡し役となり「議会日より」の紙面にてご案内をしております。

年間4回の定例会を中心に各議員の質疑応答を限られたスペースに文章化するにも限度があります。

★ 皆様ぜひ議会を傍聴して頂き、議場での質疑応答を肌で感じ、議員にアドバイスを頂ければと思います。

(田中)

第121号編集委員

委員長 中山 明美
委員 稲垣 稔
委員 小峰 文夫
委員 小井 計次
委員 石川 唯一
委員 小坂 和久
委員 田中 種夫



● 鳩山町議会ホームページは [鳩山町議会](#) ← で検索してください。

平成25年 8月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸184番地16)